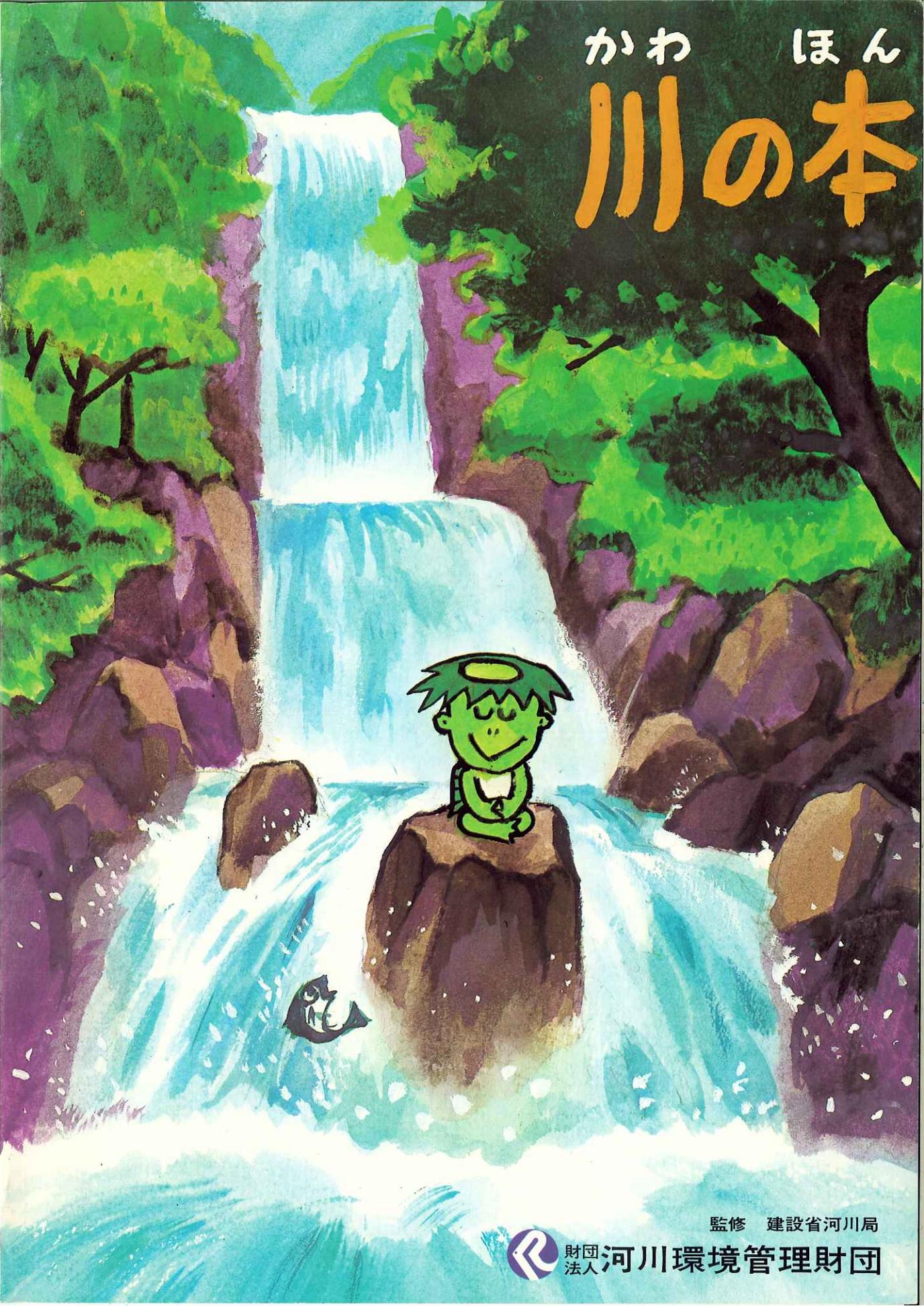


かわ ほん  
川の本



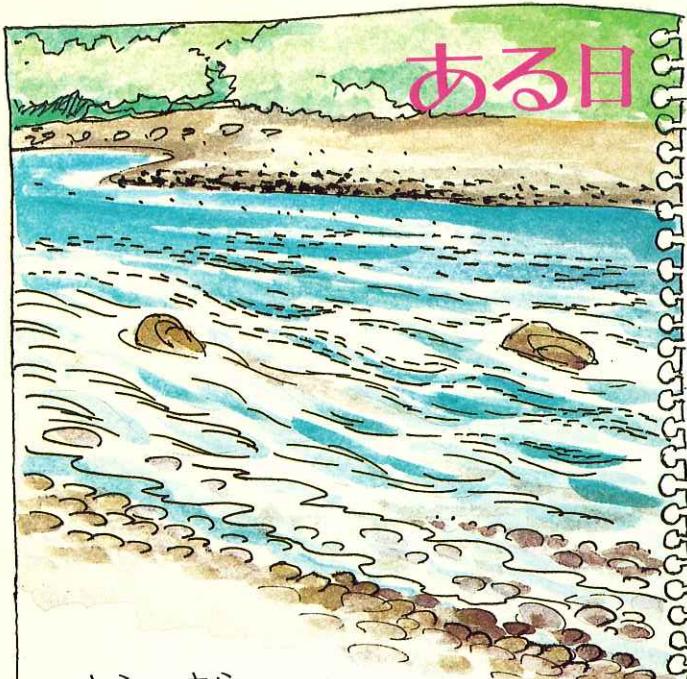
監修 建設省河川局



財団 法人 河川環境管理財団

# ある日のスケッチ日記

——川に遊びに行つた時のこと



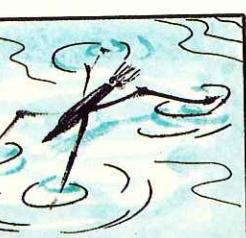
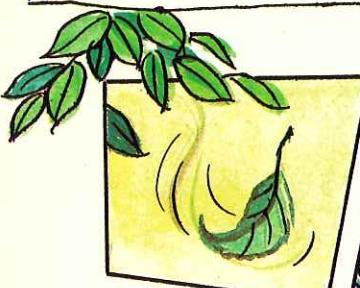
さら、さら……

足もとの小川を きれいに澄んだ水が  
流れています。



きら、きら……

太陽の光が せせらぎのさざ波や 飛び散る  
飛沫に反射して まぶしく光ります



お~い、お~い……

「夕立がやって来たぞーーー」

ひら、ひら……

風に吹かれて落ちた木の葉が 流れに乗って  
小舟のように走っていきます

すい、すい……

あめんぼが 長い足をボートのオールの  
ように伸ばして 泳いでいます

急に空が暗くなつて來たと思う間もなく  
おおづぶ 大粒の雨が落ちて來ました



ざわ、ざわ……

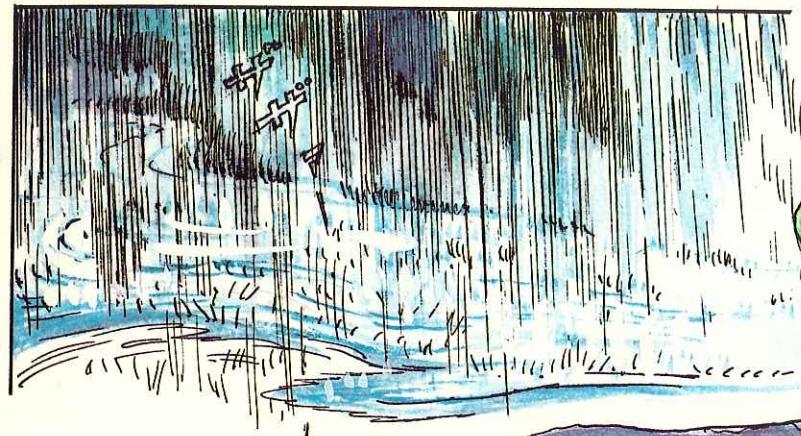
まわりの林が いっせいに葉ずれの音を  
響かせて 悪くなるほどさわいでいます



ピシッ、ピシッ……

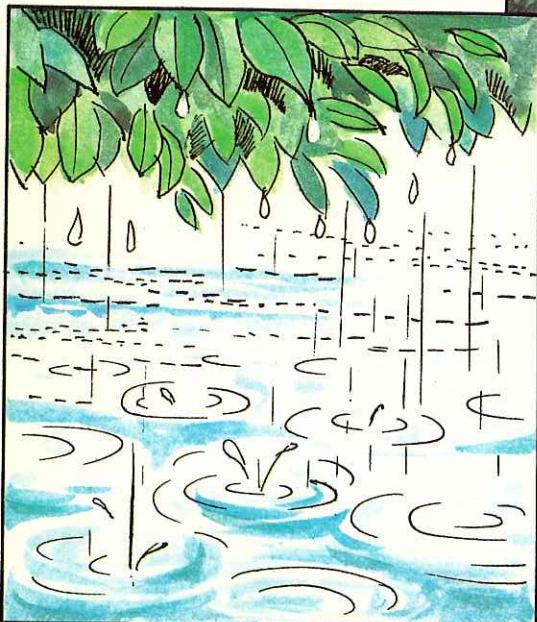
それまで白く輝やいていた石や岩が 雨に打たれて  
みるみるうちに黒くにじんでいきます

さあー、さあー……  
はげしくたたきつける雨が はね返って  
川じゅうが 大そうどう



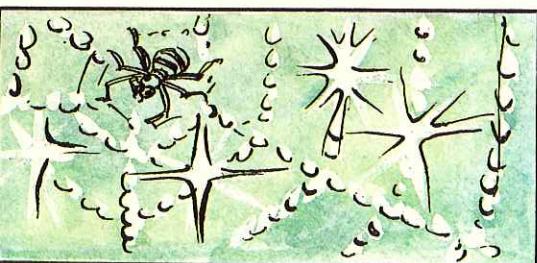
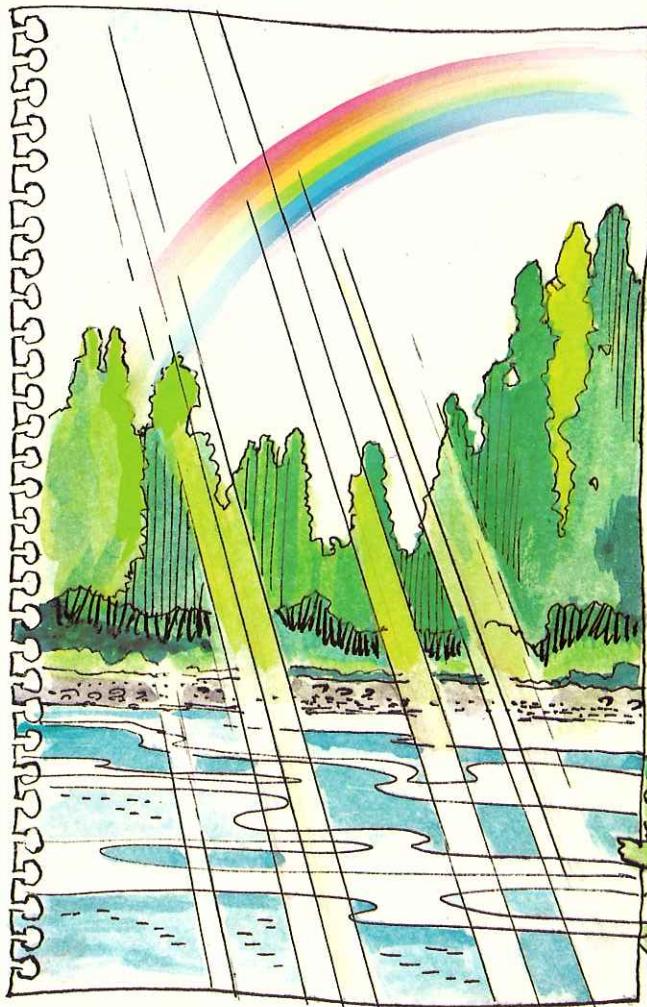
あれ、あれ……

ひとしきり雨が降り続いたと思ったら おや  
もう雲のすき間から 陽がさしてきました



ポタ、ポタ……

葉っぱの先からしたたった水滴が 川面に落ちて  
あちこちで波紋を抜けています

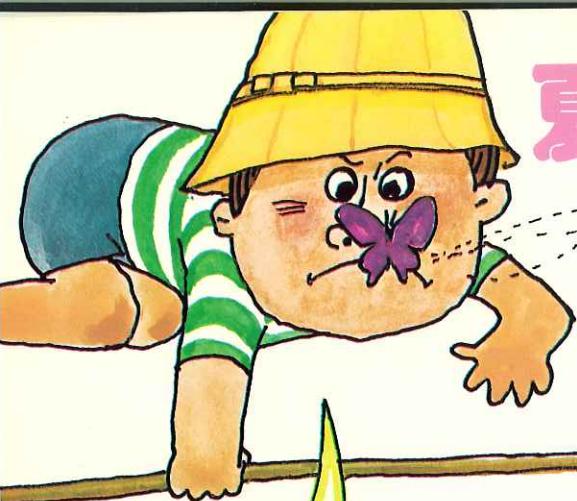


ゆら、ゆら……

細い糸を張りめぐらしたくもの巣が  
銀色に光りながら 重そうにゆれています



# 夏休みを楽しく…



ひん

## 【昆虫採集】



ウヒヒヒヒヒヒ



採集というのは、ただ昆虫をつかまえて  
くれればよい、ということではないのだよ。  
なによりも大切なことは、「しっかりと  
見る」ことなんだ。

どんな形や色をしているか。

どのくらいの大きさか。

どんなところにいるか。

一匹でいたか、群れていたか。

どんな動きをするか。

なにを食べるか。

……こうした昆虫たちのようすを、じっ  
くりと観察しよう。

また、ある虫がどんな行動をするか、ま  
たどのように変っていくか、そのようす  
をずっと追いかけながら続けて観察して  
みるのもだいじなことだ。

観察したことは、必ずスケッチしたり、  
写真にとったりして記録しておこう。

また、採集した昆虫は、標本にしよう。  
そして、図鑑などでその昆虫のことをち  
ゃんと調べる習慣をつけよう。



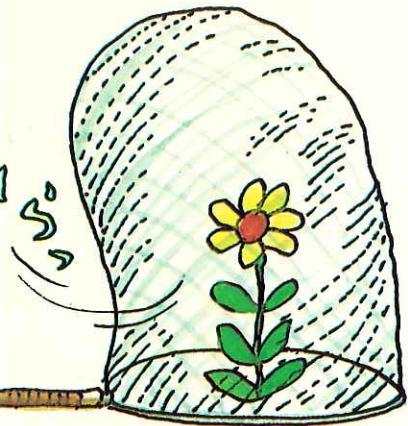
トンボの幼虫「ヤゴ」が、メダカをくわえたところ

卵からかえったトンボの幼虫のことを「ヤゴ」といいます。  
たいてい川ぞこや水辺に住んでいて、そろりそろりと動きな  
がら、メダカやオタマジャクシなどの小動物をたべ、7~13  
回の脱皮をくりかえして成虫になります。

あれさまは  
ばったではない  
トンボさまだ

オレさまはトンボ。目玉がいっぱいある複眼  
(ふくがん)がなにより自慢なのさ、それだけ  
じゃない、ちゃんと単眼ももっているのだぞ。  
複眼の小さな目の数は10,000~28,000個もあ  
るのだ。

# 〔川に住む昆虫・貝・かに・えび〕



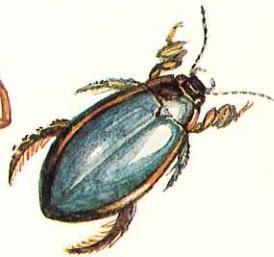
「昆虫」のなかま



みずすまし



たがめ

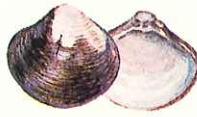


げんごろう

「えび」のなかま



たにし



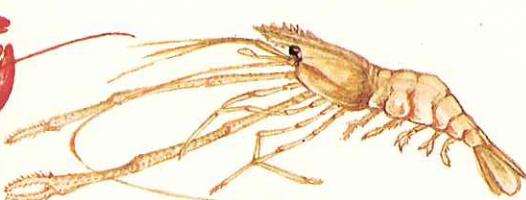
しじみ



からすがい



アメリカざりがに(えびがに)



てながえび

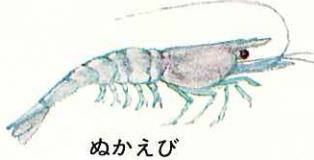
「かに」のなかま



さわがに



すじえび



ぬかえび

## 川クイズ

(答は次のページ)

①ボートで川をさかのぼっていたら、進行方向の左側に野球場が見えました。この野球場は川の左岸にあるか、右岸にあるか。

②川では、いろいろな魚を釣って楽しむことができますが、次にあげた中には海の魚がまじっています。どれとどれでしょう。

アイナメ、イワナ、ウグイ、アユ、メバル、ヤマメ

③歴代55人の横綱のうち、川のつくのは綾川（2代目）小野川（5代目）境川（14代目）男女ノ川（34代目）の4人。では湖のつくのは。

④水には硬水と軟水がありますが飲料や洗濯に適しているのはどちら。



ハテ  
どこかで  
見た  
顔  
だな

## 感潮区間と生物

川の下流の方では、海の潮が満ちてくると、海水が川の方まで入りこんでくるところがあります。こうしたところでは、塩水（塩からい海の水）と淡水（塩分を含まない川の水）とがいりまじることになります。

このように海水が川に入りこんでくるところを、「感潮区間（かんちょうくかん）」と呼んでいます。そしてこの感潮区間には、淡水でも塩水でもどちらでも生きていける貝やかになどが住みついています。例えば「さわがに」は淡水のところだけにしかいませんが、感潮区間には「もくずがに」や「べんけいがに」などがあります。貝についても調べてみましょう。

# ますます重要な 水資源の開発と川の役割

## みんなで水を大切に！ 川をきれいに！

よく“水の消費量は文明のバロメーターだ”といわれます。人々の生活水準があがり、産業が盛んになればなるほど、水を大量に使うようになることからこんな風にいわれるのです。

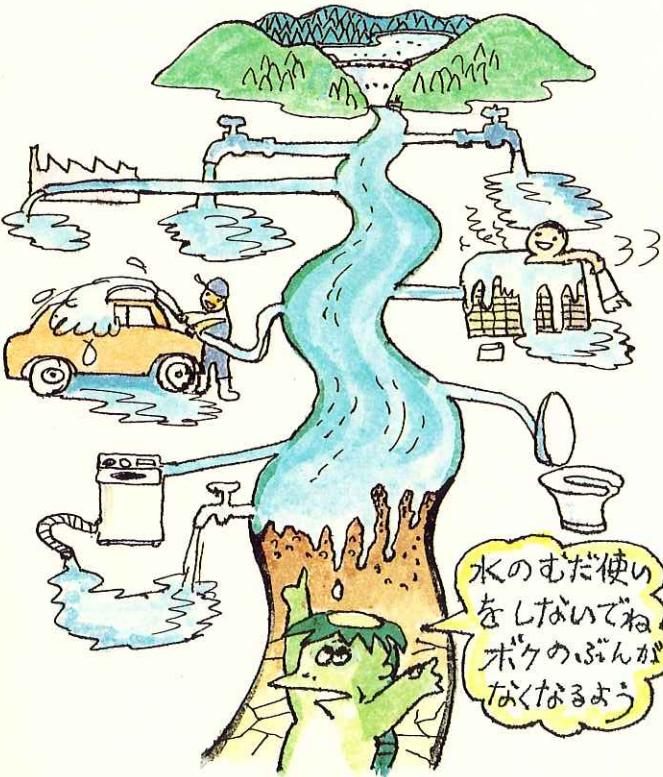
日本でも、水の需要は年々多くなるいっぽうです。昭和60年の年間総需要量は約1,000億m<sup>3</sup>と見込まれており、これは昭和50年の約20%近い増加です。そのために、国や地方公共団体などでは、貯水をはじめいくつかの目的をかねそなえたダムを次々と計画し、川の上流にたくさんのダム建設をすすめています。しかしそれでもなお、人口が集中しました工場などが多い都市の周辺では、水の供給が追いつかなくなる心配さえあります。

しかも、そうした私たちの暮らしに欠くことの出来ない大切な水の70%ぐらいまでが、川の水によってまかなわれているのです。

もしも川の水がなくなってしまったら大変です。

また川の水がよごれてしまっても困ります。

みんなで水のムダ使いをしないよう、そして川をきれいに守るよう、しっかり気をつけましょう。



### ★節水型トイレのお話

下水道の整備が進むにつれて、水洗式トイレがますます増えつつありますが、毎年話題になる水不足の解消に少しでも役だとうというわけで“節水型”トイレの開発がすすめられています。これによれば、現在一般に使われている普及型だと1回に13~15ℓの水が必要とのに対し、約半分程度ですむというものです。業界の各社が、それぞれの節水率をかけた開発競争を進めているところですが、その成果が期待されます。

### 川クイズの答

- ①右岸。（川の流れの進行方向、すなわち上流から下流に向って、左側が左岸、右側が右岸）
- ②アイナメ、メバル
- ③55代目の現横綱・北の湖ひとり。ちなみに、山のつく横綱がいちばん多く13人、次が海のつく6人。
- ④軟水。（硬水には、カルシウム分やマグネシウム分が多く含まれ、石けんの泡だちが悪い）

# 大洪水の災害から、暮らしを守るために

## ゴジーゴー

### ■30年間の水害被害総額・15兆円以上

日本は、世界でも有数の雨が多い国です。世界各国の平均年間降雨量は726mmということですから、下の表を見ても分るように、日本ではかなりの雨が降るわけです。

しかもそれが、梅雨期の長雨や、台風による大雨など、限られた時期に集中的にやって来ます。そのうえ、日本の川は全般的に短い川が多いので、いちどに大雨が降るとたちどころに川があふれてしまい、大洪水を起しかねません。

いっきに家を押し流し、ときには尊い人命までもうばってしまい、また田畠の作物をだいなしにしてしまう“あばれ川”——。いつもは私たちに豊かな恵みをもたらしてくれるやさしい川も、いったん大雨を飲みこむと手がつけられません。

昭和21年からの30年間にこうむった水害による被害額は、最近のお金でかぞえると15兆円以上にもなるということです。

### ■“あばれ川”を治める治水事業

しかもこの恐ろしいあばれ者は、ある日突然に、思いがけないところで正体をあらわすことがあるので、油断もすきもありません。そしてこのあばれ者につけ入るすきをあたえないよう、川をしっかりと守るのが治水事業です。例えば堤防整備もそのひとつ。日本は、同じような多雨地帯の中でも、ひときわ整備がすんでいます。しかしそれでも洪水被害はあとを絶ちません。国や地方公共団体では、たくさんのお金を使って、堤防だけではなくいろいろな治水事業をすすめています。そして建設省では、災害を防ぐとともに、限られた水資源をより有効にいかすため、昭和52年度から新らしく「第5次治水事業5ヶ年計画」をスタートさせ、川の整備をさらにおしすすめています。これは総予算7兆6,300億円という大計画です。——水害のない川、暮らしをおびやかすことのない安全な川が、こうして着々と誕生していくのです。

## まい年 7月、8月は「河川愛護」の月間です

### ★世界多雨地帯の降雨量と堤防の長さ



(国名)	(年平均降雨量)	(堤防延長)
日本	1,818mm	16,600km
インド	1,042"	7,000"
ニュージーランド	2,010"	2,510"
タイ	1,880"	1,207"
フィリピン	2,530"	598"
スリランカ	2,010"	119"

\*堤防延長は1970年のデータです。

\*資料は、ECAFE "Water Resources Journal" より

### 河川環境管理財団のしごと

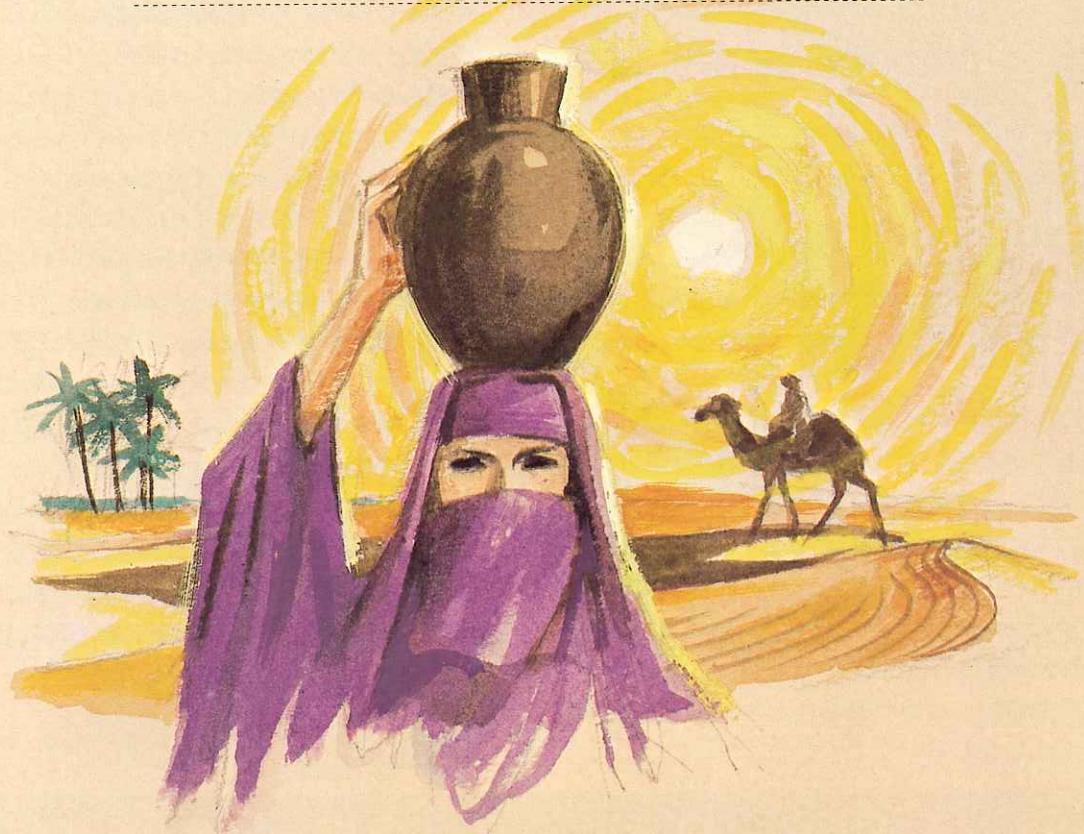
私たちは“川をきれいに守るため”そして“川を楽しくつろぎの場にしていくため”に、次のようなしごとを行っています。

- 1.よりよい河川環境を生みだすための計画づくり
- 2.みんなで安全に遊べる楽しい川づくり
- 3.川の美化をすすめ、また河川愛護の知識をひろめるしごと
- 4.河川環境づくりについての調査や研究

# 8月1日は水の日です

その日から一週間は〈水の週間〉です

みんなで水の大切さをもういちど確かめあい、  
水のムダ使いをやめて節水につとめましょう。



アラジンのランプで  
水が生み出せるわけでは ありません

「湯水のように使う」

(日本) みさかいもなく、ジャブ  
ジャブ無駄使いすること  
の《たとえ》です。

(アラブ) 貴重な水と同じように、  
大切に使うことをあらわ  
す時の《たとえ》です。

同じ《たとえ》でも、水がなによりも大切な砂漠の国アラブと日本とでは、  
まったくちがった意味に用いられているのです。